

中学校区における子ども像													
「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら自他ともに尊重し、自ら考え、行動できる子ども													
令和6年度 重点目標													
1.思考力・判断力・表現力を育む授業づくり2.自分も他者も大切にする心の教育3.心身ともに健康な子どもの育成													
「確かな学び」の現状 ・漢字の復習学習や計算力向上のために100マス計算に全学年で取り組んでいる。継続して取り組んできている成果もあり、多くの学年で目標を達成できている。より多くの児童に力がつくように継続して取り組んでいく必要がある。 ・対話をテーマに学校全体で研修に取り組んできた。学校教育アンケートや本校独自の対話に対するアンケート結果から対話についての意識の向上が見られた。本年度も対話をテーマとし、全校をあげて研修に取り組んでいきたい。				「豊かな心」の現状 ・自分を肯定的に捉えている児童の割合が80%を超えている。さらに、多くの児童が自尊感情・自己肯定感を高められるように取り組んでいきたい。 ・協調するという面では、互いに思いを譲り合ったり、相手の考えを受け入れたりすることに課題が見られる。友だちの良さにも目を向け、相手の気持ちを考えて行動する心も育んでいきたい。 ・全体としては、落ち着いて過ごせている。(校内でのトラブルは減っている。授業態度もよくなっている) ・そうじは、がんばれている児童が多い。 ・自分からあいさつをする、ろうか歩行、トイレのスリッパをそろえることに、課題あり。 ・きまりを守るは、一部の児童に課題あり。				「健やかな体」の現状 昨年度実施のアンケートでは、8割以上の児童が、「外で遊ぶこと」「運動することが好き」「体育の授業が好き」といった項目のアンケートで肯定的な回答を得た。スポーツテストの結果に関しては、「反復横跳び」「立ち幅跳び」といった、瞬発系の種目で、堺市平均を上回っている。一方、「シャトルラン」(持久力)では、ほぼすべての学年で、堺市平均を下回り、学校としての課題となっている。 R4年度より、けんかつ(健康生活)アンケートを実施し、「姿勢に気をつけて生活していますか」の肯定的評価が低いため、啓発指導を実施したが、すぐには成果が出なかった(R4年度 58.2%→R5年度 58.5%)。本校の課題である睡眠は、継続的に指導を続けているが、習い事や家庭の都合などで成果が見られない。					
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～7月)	達成状況 (年度末)					
								自己評価			学校関係者評価		
確かな学び	学力向上	・授業で困らない計算力や漢字の書き取り力を身に着ける。(基礎学力の定着と向上) ・自分の思いや考えを表現できる。他者の思いや考えを聴くことができ、そこから自分の考えを深めることができる。(思考・判断・表現) ・GIGA スクール構想に基づき、ICT を効果的に活用できる。	・朝学を活用して、計算力・漢字力の向上をめざす。(本校独自の漢字・計算チャレンジに取り組む。) ・月に2回程度の作文指導を実施する。 ・年間を通じて「思考力・判断力・表現力の育成」をテーマに教職員で研究する。 ・子どもが自ら学びを進める授業の考え方(学びのコンパス)を各教科で実施する。 ・高学年:調べ学習やプレゼンソフトを活用して自分の考えを表現する。 低学年:児童用PCを活用し、学習のふりかえりに取り組む。	・100マス計算1～2年(2学期末集計)…5分以内70%以上 ・本校の計算テスト3～6年生(2学期末集計)…正答率80%以上 ・2学期漢字まとめテスト1～2年(2学期末集計)……正答率70%以上 ・漢字チャレンジ3～6年生(2学期末集計)……正答率80%以上 ・研修部会からの研究テーマに関する児童アンケート結果の向上。 ・児童用学校教育アンケート「思ったことや考えたことを文章にできる」「予想や考え方などをノートに書くことができる」…肯定的回答85%以上 ・高「児童用PCを使用して自分が調べたい情報を調べられますか?」低「ドリルパークに取り組んで習ったことの復習ができていますか?」…肯定的回答85%以上	本校独自のチャレンジテスト 学校教育アンケート 研修部会からのアンケート	3学期	・100マス計算や計算チャレンジ、漢字チャレンジは2学期末集計。1学期は1年生以外の学年で実施した。 (前学年の復習をしているため) ・PDCAサイクルシートを活用した各学年の研修への取り組みについてふりかえりを夏期研修時に実施。 ・全校をあげて、作文指導の充実に取り組んだ。 ・1,5年生で研究授業および、事前事後討議会を実施。 ・児童アンケート、学校教育アンケートは2学期実施予定。	○					
		・「自分のよさ」「自分らしさ」を見つけ、自己肯定感を高める。 ・自分から他者に関わり、自他ともに良さを認め合い、集団としてなかよく活動できる。	・自分のことを知る取り組み(1学期) ・ありのままの自分を認め、受け入れる。(心の成長アンケートを取り、学年初め・中間・学年末と変容を見る) ・なかまとつながる取り組み ・学校全体で「なかまとつながる取り組み」をする。 ・なかまづくりの研修を行い、「目指す子ども像」を明確にして教職員の集団づくりへの意識を高め、実践を交流する。 ・学年・学級で行ったなかまづくりの取り組みから、児童が自分を意識して行動したかを実感するため、学期末ごとに心の成長アンケートを行って自分を振り返る。	・学校教育アンケート 「自分には、よいところがあると思いますか」:肯定的回答80%以上 「友だちの気持ちを考えて、行動している」:肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	3学期	・なかまづくり研修(夏季研修)を実施:教職員の集団づくりの意識を高め、学年・学級活動での実践事例と、その成果や課題について共有を行った。 ・心の成長アンケートを実施:①自分の良いところを知っている ②友だちの気持ちを考えて行動しているどちらも80%以上	○					

		規範意識の向上	・学校に入るとき、校舎に入るとき、教室に入るときに、自分からあいさつができる ・みんなのためにろうか歩行を意識して過ごせる ・みんなのために自分の履物をそろえたり、そろっていないスリッパを揃えることができる ・学校のきまりを守り、守ることに価値を見出せる	・ハテナボーイを朝の会で毎日チェック ・学校外での遊び方の指導を下校時間が早い日に全クラスで行う ・行事ごとや、要所でアクティブに学年集会を行い、全員で指導する ・朝礼で各委員会からよびかける ・朝礼で生徒指導担当から月別目標の講話をして、クラスで取り組む ・週1回の月目標のチェックと月1回の振り返りをクラスで丁寧に行う ・委員会活動と連携した取り組み（特に、あいさつ、廊下歩行、スリッパ） ・職員への啓発と職員が見本となる姿を見せる	・学校教育アンケートの「学校のきまりを守っている」の項目で肯定的評価80%以上 ・学校教育アンケートの「あいさつをよくしている」の項目で肯定的評価80%以上 ・学校教育アンケートの「掃除を一生懸命している」の項目で肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	3学期		・はてなボーイのうち、ぼうしをかぶらない児童はまだいるが、減っている。 ・あいさつ 低学年はおおむねできている。自分からはどの学年もまだあまりできていない。 ・不要な持ち物を持ってくる児童がまだいるが、話をすれば改善している。 ・そうじはどの学年・クラスも頑張っている。 ・スリッパがそろっていないことが多い。声はかけ続けている。	△			
健やかな体	体力向上	・「体育の授業が好き」、「運動することは好き」という児童が学校の90%に増加。 ・スポーツテストにおいて平均記録を上げる。(特に昨年度堺市平均を下回った種目) ・体力向上への取り組みに積極的に参加する児童の増加。	・体育委員会を中心とした体力向上への取り組み(八田荘チャレンジ)を行う。昨年度はリズム縄跳び、ハの字跳びだったが、今年度はスポーツテストの結果をもとに種目を検討する。 ・体育授業においては、授業改善をはじめとし、年間指導計画を見直す。 ・スポーツテストにおいては、体育委員会が事前に種目体験会を企画し、体の動かし方のイメージを持たせる。 ・スポーツテストの結果は全児童に返却することで、自分の体力の現状を振り返る機会をつくる。	・学校教育アンケートの「外で元気に遊んだり、体育の授業で体を動かしたりすることが好きだ」の項目で肯定的評価が90%以上。 ・けんかつアンケートの「体育の授業が好きですか」「運動することは好きですか」の項目で肯定的評価がそれぞれ90%以上。 ・スポーツテストの結果(堺市平均、前年度の結果との比較)	学校教育アンケート 研修部会からのアンケート スポーツテスト	3学期	・5月に行ったけんかつアンケートでは、「体育の授業が好きですか」、「運動することは好きですか」という質問に対して、共に85%以上の肯定的回答が得られてはいるが、目標の90%以上には到達していなかった。授業改善として、2学期に2年生において体育科の校内研究授業を行い、職員全体で体育授業について研修を行う。 ・5月に行ったけんかつアンケートの「雨が降っていない日、学校の休み時間は、外で遊びますか」という質問では、昨年度11月に行った同じアンケートよりも肯定的回答が増加している。体育委員を中心に、引き続き体力向上への取り組みを続けていく。	△					
	健康の維持・増進	・日々の姿勢に意識を向けて生活のできる児童 ・早寝を意識することのできる児童 ・1日3度の栄養バランスのとれた食事が大切だと思う児童	・健康生活目標の周知(姿勢については毎回触れる)朝礼で保体給からの講話後、担任からの講話 ・けんかつ(健康生活)アンケートを年1回(11月)実施して、実態を把握する ・発達段階に応じた目標睡眠時間の周知・指導を継続的に実施する ・朝ごはんの3つのスイッチに関して、朝礼等で学期に1回指導する。 ・ホワイトボードを活用して、給食の食材や栄養バランスについて指導する	・学校教育アンケートの「早寝早起き朝ごはん…」の項目で肯定的評価 児童用80%保護者用90%以上 ・けんかつアンケートで肯定的評価睡眠(学校があった日…寝…)70%以上 姿勢60%以上 朝ごはんの3つのスイッチ…90%以上 苦手なものが…90%以上	学校教育アンケート けんかつアンケート	3学期	・周知、指導を継続中(朝礼で健康生活目標、給食時間の放送で発達段階に応じた目標睡眠時間、ホワイトボード) ・けんかつアンケートの結果より、低学年で一口チャレンジをする児童の割合が少ない、 ・残食の多い野菜に焦点を当てて、7月に給食推し活週間を実施 ・けんかつアンケートの結果より、睡眠時間の定着が浅い→10月の保健指導に睡眠の項目を追加する予定です。 ・姿勢を意識する活動(せすじいビンゴ)の取り組みをします。 【5月けんかつアンケートの結果】 ・学校があった日は何時までに寝ますか：69.8% ・姿勢に気を付けて生活していますか:60.7% ・朝ごはんの3つのスイッチがわかりますか：80.9% ・苦手なものが給食にでたときどうしていますか:88.3%	△					
校長より（年度末）							学校関係者評価者から（年度末）						